

市民からのご意見・ご感想

- 私は他県の学生であるが、今回参加し学業の参考になった。まちづくりには市民の認知や参加が不可欠である。
- 中小企業が活性化できる「中小企業基本条例の制定」に向けた環境づくり（中小企業基本条例の制定について議会で勉強していただきたい）。
- フォーラムにも若者が参加してもらえよう宣伝が必要。
- 若者に登別に関心を持ってもらうのが大事だと思う。
- 議会フォーラムの必要性の有無や運営方法を考え直してほしい。
- 討論内容が議会に反映されていない。
- 議会活動以外に熱心で、議会で居眠りは…。
- 日常、市（行政）がやっている事業の推移とか情報をもっと把握せよ。
- 話された意見が次の議会フォーラムで進行状況を発表されれば参加したいと思います。前進してほしいです。
- 議会フォーラムの開催回数をもっと増やしてほしい。
- 時間配分を多くすることができないのか？
- 以前福祉のまちづくり条例に関わった者ですが、今回、他の市町村を視察したと聞きましたが、より良いものにしていただき、その過程や状況などを一般市民にも知らせて分かるようにしていただきたいと思っています。
- 皆さんの活発な意見に感動しました。日ごろの町内会活動に敬意を表します。機会があれば参加したいと存じます。
- でいすかすについては、一方的に配するのではなくて、皆様の見たい事や意見交換をして載せることが必要だと思います。
- 議会フォーラムは日曜日に開催してほしい。
- 話し合いの時間をもっと長くとってもらいたい。
- 議員は市民の代表であります。議員から見た市民に対しての意見があれば言ってほしい。
- 高齢化社会を迎えるにあたっての市（議会）としての取り組みについて、市民に見えやすいような活発な討議をお願いしたい。

etc.

私たち議員の受け止め・感想

- 年々参加者が減っており、各団体からの参加者が多い。もっと、気軽に参加できるように形態を模索することが必要。（米田）
- 初めての参加者などが気軽に参加できない雰囲気、参加者を限定してしまっている。（成田）
- 「議会だより」の初めての分科会。取り組みや工夫の内容を知らせることで、興味を持ってもらうきっかけになった。（渡辺）
- フォーラムは今後も手法を改善しながら続けるべき。（山田）
- 常任委員会単位の分科会が良い。今後は効率的な手法に見直す必要がある。（高橋）
- 市民の意見を聴くのは良いが、結果を特別報告する必要はなく、議員個々の感性の問題である。（永沢）
- フォーラムと、委員会による市民との意見交換・出前トークとの住み分けが大切。（赤根）
- 今回の課題で対応できるものは市民へ知らせる必要がある。（木村俊子）
- 参加者が減少しており、今後の開催方法やテーマ設定に再検討が必要。（熊野・沼田・工藤）
- 連合町内会単位での開催など、市民側が主体となって開催し、そのテーマに応じて委員会毎に対応するような手法でぜひ導入すべきでないか。（大村）
- もう「4会場に来てもらう方式」は通用しない。議会として細かく地域に出てゆく時期にきている。（石山）
- 市民は議員や議会総体に意見したいと考えている。一番大切なことはフィードバック。考え方は各議員それぞれで、議会として意思統一するのは無理である。議員個々・会派での取り組みとなるのでは。（山口）
- 市民が求めている「小さい」単位での開催へは対応できていない。各常任委員会単位にしたことで、少しは課題解決型に近づいたと思う。（天神林）
- 議会主催の「事業仕分け」を委員会ごとに対応してはどうか。（松山）
- グループ討議の時間が短過ぎた。（平田）
- 市民が実行委員会へ参加するなどの工夫が必要。（西村）

※フォーラム正副委員長は割愛